



『現場作業での重点4項目』 実践マニュアル

2012年2月
2012年7月1項追記

現場作業での重点4項目(現場作業のあるべき姿)

① 工事開始前に全員で作業現場を点検すること。

- 不安全な状態があれば養生してから作業を始める。

(可動物、リンク、重量物は必ず固定してから作業を始める。)

2012.6.23

千葉重大災害の再発防止のための視点追記

② 作業中は常に安全意識を持ち続けること。

- 工事の安全最優先は、自分で確保しなければならない。
- 一人ひとりがその時の状況を把握しながら、考えて、安全に仕事を進める。
- 共同作業においては同僚をよく注意して観察し、相互啓発をこまめに行う。

③ 作業指揮者は「一步離れて」、仲間の安全を見る。

- 作業指揮者は、安全指導と作業指揮が本来の職務である。
- 共同作業者を良く観て、注意・指導する。
- 現場の状況を観ると同時に人(共同作業者)を良く観る。
- 落ち着いて観れるだけのゆとりと余裕をもって作業する。

④ 用事の無いときは現物から離れる。

- 危険な場所に近づかない。
- 指示がない場合、勝手に手出しをしない。

**重点4項目を守って、
作業行動の変革を行う。**

作業のリスクアセスメントを進めよう！！

1. 『工事開始前に全員で作業現場を点検』する

指揮者は、全員を集め作業手順の説明をする

指揮者

全員見ろ

作業場所

作業者は説明をよく聞く

指揮者は、全員で作業場所に危ないところがないか点検する

指揮者は、下見時と現場の状況が変わっていないか確認する

下見
確認表で
確認

指揮者は、変わっている時は作業を止めて、監督者に連絡する。

全員で安全養生してから作業を開始する

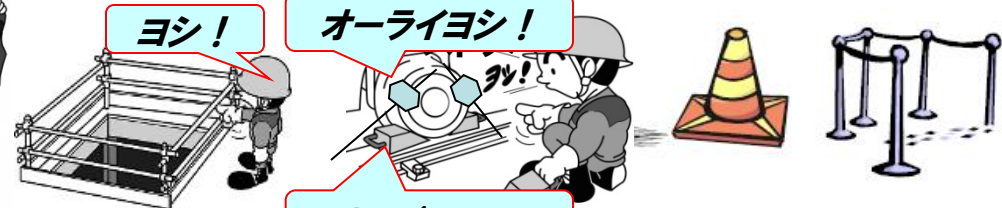
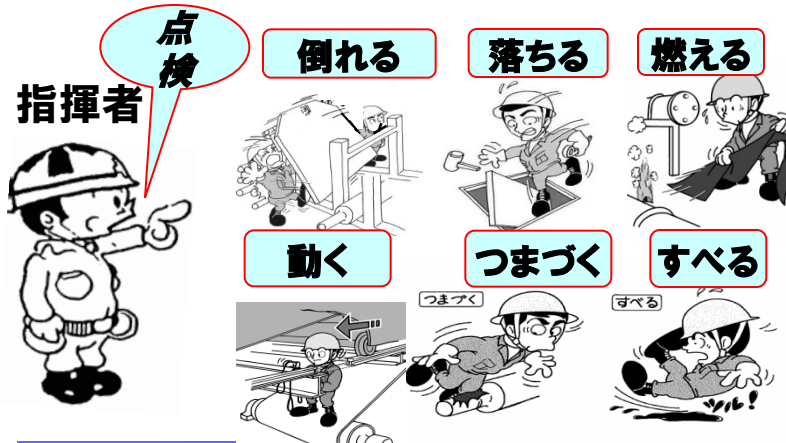
不安全な状態を養生する

ヨシ!

オーライヨシ!

ストップヨシ!

作業開始



2. 『作業中は常に安全意識を持ち続ける』

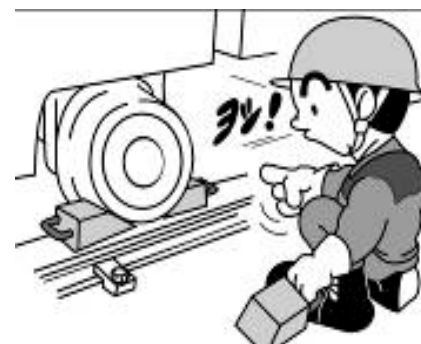
一仕事、一片付けをする



乱雑な現場は危険がいっぱい！

共同作業者は同僚に絶えず声掛けをし、互いの呼吸を合わせる

指差呼称で安全を確認をする



指差呼称！

危険と思ったら遠慮なく注意する
(たとえ、先輩であっても)



声掛けを！



相互注意を！

3. 作業指揮者は『一步離れて』、仲間の安全を見る

工事着工前に、全員で大事な場面（特に危険な作業）はどこかを決める



大事な場面の
決定

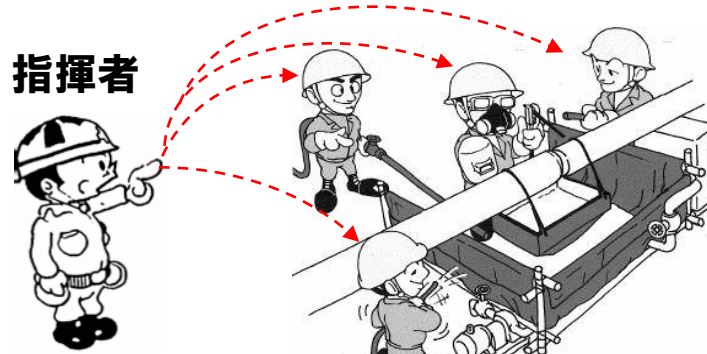
監督者は、大事な場面では「指揮者が一步離れられるよう」要員配置する



大事な場面
の作業をする
ぞ

大事な場面では
+1名

指揮者は、大事な場面では仕事を止めて、仲間を良く観る



指揮者の職務は安全指導！

大事な場面では、あせらず、落ち着いて指示する



4. 『用事のないときは現場から離れる』

作業者は、指揮者の指示なしで勝手に作業をしない



作業者は、指揮者の指示なく勝手に危険な場所へ近づかない

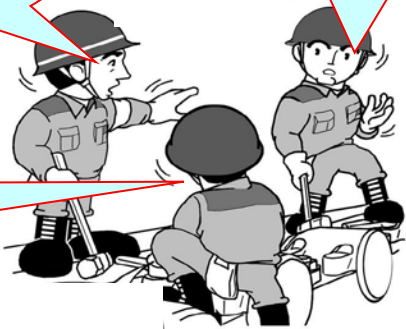


作業者は、指示された自分の仕事が終わったら、指揮者へ報告し、次の指示をまつ

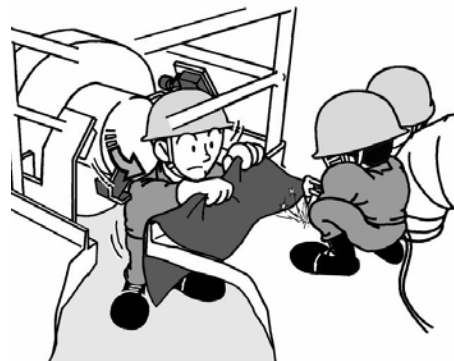
そこから離れて待って下さい

こちらは終わりました

スパナをセットしました



指揮者は、作業者が手待ちになったら、安全な場所で待機させる



離れて待機

遊んでいる訳ではありませんから、気がねせず、次の指示を待とう